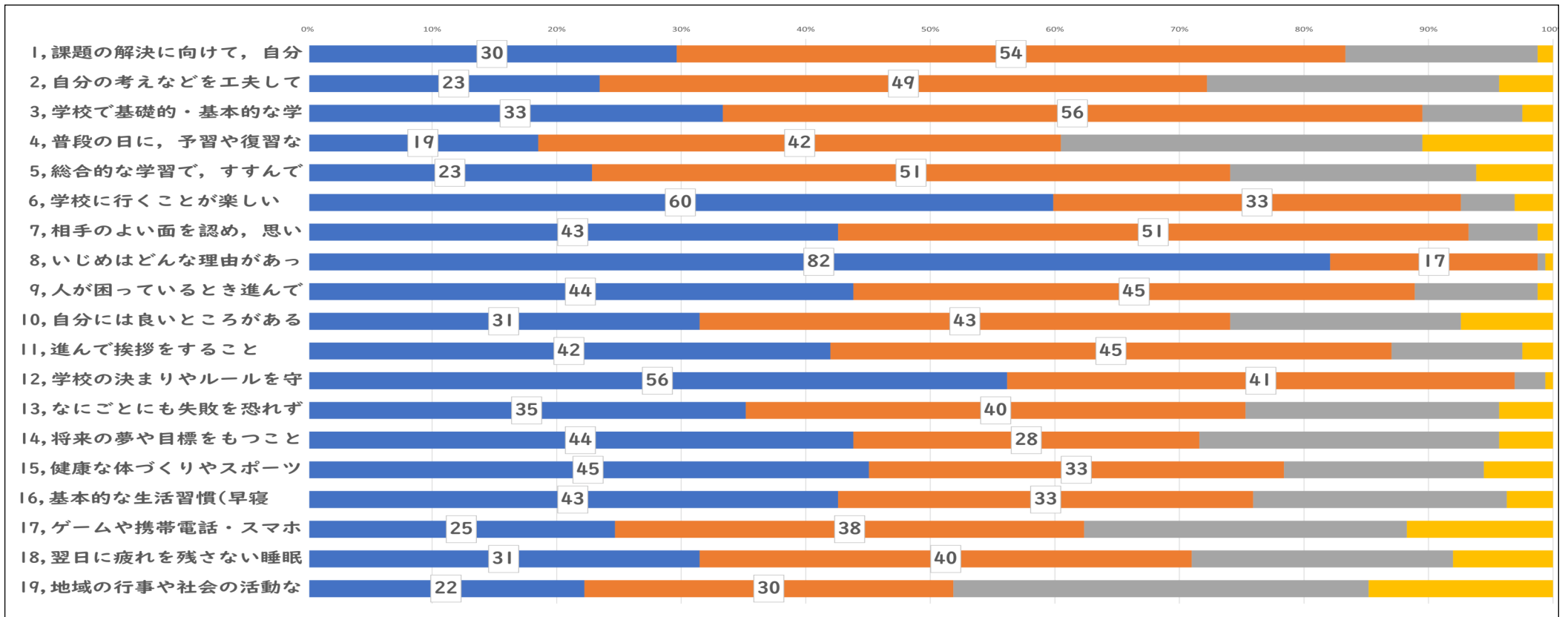




学校教育目標『豊かな心と知性をそなえ、自らの未来を創造し、たくましく生きる生徒の育成』

令和6年度 京都市立九条中学校 前期学校評価アンケート【生徒】集計結果／分析

令和6年11月15日
京都市立九条中学校
校長 川島 浩明



前期学校評価（生徒）アンケートの結果から見た「確かな学力」の育成に向けての1～5では、1,課題の解決に向けて, 自分で考え, 取り組む《83.3%》、2,自分の考えなどを工夫して発表する《72.3%》、3,学校で基礎的・基本的な学習が定着できる《89.5%》、4,普段, 予習や復習など自主的に家庭学習に取り組む《60.5%》、5,総合的な学習で, すすんで課題に取り組み発表する《74.0%》という結果が得られた。学校生活の根幹である生徒の学習に対する意識や手ごたえは概ね良好な結果だと言えるが、家庭学習における自主性にやや課題があるように感じる。今回のアンケート結果と全国学力テスト（3年）や学習確認プログラム、定期テストなどの結果とを照らして引き続き後期へ繋げたい。

次に「豊かな心」の育成に向けての6～13では、6,学校に行くことが楽しい《92.6%》、7,相手のよい面を認め, 思いやりの心を持つ《93.2%》、8,いじめはどんな理由があってもいけない《98.8%》、9,人が困っているとき進んで助ける《88.9%》、10,自分には良いところがある《74.1%》、11,進んで挨拶をすること《87.1%》、12,学校の決まりやルールを守る《96.9%》、13,なにごとにも失敗を恐れず挑戦する《75.3%》という結果が得られた。これは本年度の取り組みの軸である全校による「たてわり活動」による成果のひとつと言える。多くの生徒が学級、学年を越えた関わりを通して、他者との相互理解を深め、仲間を認めて大切にしたい気持ち、また、そこから自己有用感や肯定感をへとつながる有意義な取り組みとして引き続き実践したい。

最後に「健やかな体」の育成に向けての15～18では、15,健康な体づくりやスポーツに取り組む《78.4%》、16,基本的な生活習慣を身につける《75.9%》、17,ゲームや携帯・スマホの使用時間をコントロールする《62.4%》、18,翌日に疲れを残さない睡眠時間を確保する《71.0%》という結果が得られた。今後も家庭と連携を大切に、病気や傷害の防止も含めた健全な心身の育成に繋げたい。

◆グラフの見方《達成度 %》

よくできている

大体できている

あまり出来ていない

出来ていない

◆学校評価アンケート項目【生徒】

- 1,課題の解決に向けて、自分で考え、取り組むこと
- 2,自分の考えなどを工夫して発表すること
- 3,学校で基礎的・基本的な学習が定着できること
- 4,普段の日に、予習や復習など自主的に家庭学習に取り組むこと
- 5,総合的な学習で、すすんで課題に取り組み発表すること
- 6,学校に行くことが楽しい
- 7,相手のよい面を認め、思いやりの心を持つ
- 8,いじめはどんな理由があってもいけない
- 9,人が困っているとき進んで助けること
- 10,自分には良いところがある
- 11,進んで挨拶をすること
- 12,学校の決まりやルールを守ること
- 13,なにごとにも失敗を恐れず挑戦すること
- 14,将来の夢や目標をもつこと
- 15,健康な体づくりやスポーツに取り組むこと
- 16,基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん)を身につけること
- 17,ゲームや携帯電話・スマホなどの使用時間を適切にコントロールすること
- 18,翌日に疲れを残さない睡眠時間を確保すること
- 19,地域の行事や社会の活動などに取り組むこと